

2021年1月7日

宇都宮市長 佐藤栄一 殿

市民連合 会長 今井恭男



## 新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望

新型コロナウイルス感染症の感染者数が爆発的に増加しており、栃木県内においても1月6日には132人の感染者が確認され、直近1週間の感染経路不明割合が約半数に上るなど感染拡大に歯止めがかかる危機的な状況にある。また、このような状況を受け、対応にあたる医療現場では、病床数・宿泊療養室数に対する療養者数が確保数を超えて、警戒度レベル「特定警戒」が継続されるなど、深刻な医療提供体制の機能不全を招くリスクが高く、市民の健康への影響が懸念される事態となっている。

更に、20時以降の不要不急の外出自粛や、宇都宮市全域を対象に要請された酒類を提供する飲食店（カラオケ店を含む）に対する、営業時間短縮の協力要請により、疲弊している飲食業界や宿泊業界に更なる深刻なダメージを与えることが懸念されており、市民生活においても正に正念場である。

よって、感染拡大防止対策の更なる強化や、深刻な経済影響に着実に対策を講じることが必要であることから、市民連合会派として緊急要望を提出するものである。

### 記

1. 県・市内医療機関と連携のもと、PCR等検査体制の更なる充実や、サーバランス体制の強化を図り、感染拡大の防止を図ること。
2. 急激な感染者拡大により病床数が逼迫していることから、県・医師会と連携のもと、必要な病床を確保し、療養体制の強化を図ること。また医療機関においては手術用手袋の不足や、医療系廃棄物の処理などに課題が見られることから行政支援を充実させること。
3. 市内経済活動の自粛拡大により、飲食・宿泊・観光業等のサービス産業を中心に、甚大な経済影響が発生していることから、協力金の充実を図るとともに、資金繰り等の経営継続支援や相談支援をきめ細かく行い、状況に応じ追加の対策を講ずること。
4. 感染拡大を防止するためには市民ひとりひとりの行動変容が重要であることから、感染予防対策や行動要請等をわかりやすく、確実に、あらゆる手段を使い周知すること。
5. 集団生活の場においてのクラスターを徹底して防止するため、学校関係機関や介護施設、スポーツ・文化活動等の実施団体等に対し感染防止対策の再徹底を促すこと。
6. 成人式の延期に伴う新成人の費用負担軽減を図るとともに、代替日程を確保すること。

以上